



エコサスパウダー



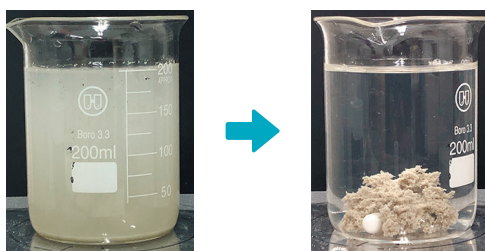
ECOSAS パウダー

乳化(エマルジョン)状態、ノルマルヘキサン等の水に難溶な油水分離が可能



ECOSAS パウダーは天然の火山灰シラスを主原料にしているため、一般的な凝集剤と比較しても環境に対する負荷が少ない商品です。環境に配慮したい土木現場や川・海の近い現場で使用しても安全、安心です。

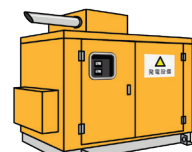
排水処理例



原水

処理水

内容量：1kg / 20kg



発電機



ガソリンスタンド

POINT 01

圧倒的な凝集力

凝集までのスピードは圧倒的です。また、他の凝集剤では対応しきれない、微細な懸濁物も凝集可能です。

POINT 02

使いやすさ

弱酸性～アルカリ性の廃水に対し、基本的には pH 調整なしで使用可能です。また、添加量の調整も簡単ですので、専門知識・技術が無くても、「ECOSAS パウダー」を使用することができます。

POINT 03

簡素な後工程

形成されるフロックが大きく、粘性も低いいため、脱水処理が容易です。

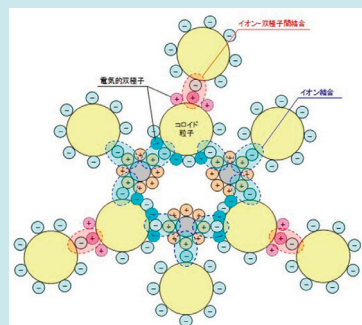
POINT 03

高い安全性

火山灰である「シラス」を原材料とした「ECOSAS パウダー」は、有機物を含んだ高分子凝集剤等よりも安全です。

ECOSAS パウダーの凝集メカニズム

ECOSAS パウダーはコロイド粒子を含んだ溶液に添加して攪拌すると、コロイド粒子の負電荷と ECOSAS パウダーの正電荷がイオン結合してコロイド粒子が凝結します。ECOSAS パウダーは一般の凝集剤に比べ、多くの正電荷に帯電しているため、コロイド粒子中の複数の負電荷とイオン結合することから、凝集力が大きく、フロックが壊れにくくなります。また、凝結したコロイド粒子も多くなることから、大きなフロックが形成されます。更に、イオン結合に寄与していない正電荷がまだ多く残っているため、コロイド粒子に帯電している負電荷が ECOSAS パウダーに引き寄せられ電化の偏りが生じ、反対側には正電荷が帯電することとなり、電気的雙極子が形成されます。電気的雙極子となったコロイド粒子と別のコロイド粒子が ECOSAS パウダーを介せずにイオン雙極子間結合を行うことから、フロックは更に大きくなります。



ECOSAS パウダーによる凝結・凝集状況

攪拌時間 パウダーは投入後、約 3～5 分の攪拌を目安とします。

使用量 ECO-01～04：廃水量に対して 0.1～0.5%を目安とします
※廃水によって使用量・添加量は変わります

食品業界に革命を!!



ECOSAS 廃液凝固剤 ECO-06

ラーメンスープ廃液問題

ラーメンスープは産業廃棄物として廃棄に費用がかかり、負担となっているのが現状。ラーメンスープ凝固剤を使用することで、事業系一般廃棄物として廃棄することができ、廃棄費用を軽減することができます。



グリストラップ清掃負担

ラーメンスープをそのままシンクへ流すと、グリストラップに大量の油が流れ込み、清掃の負担が増加します。従業員への負担、清掃委託の費用も店舗への負担となります。スープを凝固し廃棄することで、グリストラップを汚さずに済みます。



環境問題への配慮

グリストラップで集めきれなかったスープは排水管や下水道管への悪影響となるだけでなく、河川や海の水質汚染にもなりかねません。ラーメンスープ凝固剤を使用することで、廃棄が容易になるだけでなく、SDGsへの取り組みにもなります。



処理が困難な
ラーメンスープなどを
すばやく固めます。

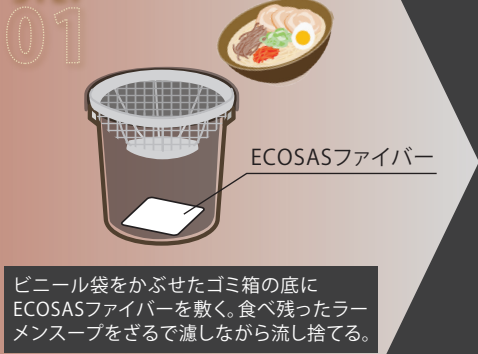
主成分：シラス、生分解性ポリマー

内容量：1kg / 20kg



使用オペレーション

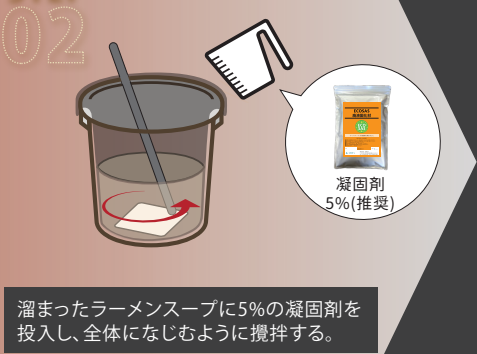
STEP 01



ECOSASファイバー

ビニール袋をかぶせたゴミ箱の底にECOSASファイバーを敷く。食べ残ったラーメンスープをざるで濾しながら流し捨てる。

STEP 02



凝固剤 5% (推奨)

溜まったラーメンスープに5%の凝固剤を投入し、全体になじむように攪拌する。

STEP 03



凝固したラーメンスープを事業系一般廃棄物として廃棄する。

清掃が困難なグリストラップの清掃にも!



ASPiAでは、将来的に、凝固したラーメンスープを燃料として利用できるよう、現在計画中です。

